

いました。

四郎にとつて、この森や林も、よい遊び場でした。野山をかけめぐつて、木の実をとつたりしながら、ワンパク少年、四郎はすくすくと育つていきました。ワンパクだけでなく、四郎は読書も好きでした。友だちの家をたずねては、めずらしい本をかりてきて、新しく変わつていく世のことを、少しでも知ろうと、いっしょうけんめいに勉強しました。

明治の初め、全国に学校の制度が生まれたのにもなつて、津川の町にも、お寺をかりた小学校がつくられました。四郎もそこで勉強しました。

七歳のときに父をなくした四郎でしたが、友だちと遊んだり、けんかをしたり、学校で勉強したりするとき、父のいない暗いかけは、少しもみられませんでした。

勉強好きな四郎は、十六歳のとき、校長先生にたのまれて、自分の卒業した